

わがまち再発見!!

対馬市教育委員会 文化財課
☎0920(54)2341

対馬各地の地名

(大字編)

【美津島町吹崎】

『津島紀事』では、黒瀬城(金田城のこと)の西に位置し、見張りが常駐しており、異常があつた際に貝を吹いて城へ伝えたことから「貝吹崎」と呼ぶようになり、後に省略されて吹崎と呼ばれるようになったと伝えられています。この他にも、湾が袋状をしているため「袋崎」が訛つたという説や、強い北西風が吹く崎のため「吹崎」となったという説があります。

【美津島町加志】

平安時代に朝廷が編集した『和名類聚抄』にも記載されている古い地名です。『津島紀事』では、地主神を「加須神又は加志神」と

号していた事にちなんでいふという説、この他に加志川の「河岸」であるという地形にちなんでいふという説が伝えられています。

【美津島町今里】

「今里」という地名は、室町時代の永享12年(1440)の古文書で初めて登場する新しい地名です。現在の今里地区は、元々加志村の一部だったので、室町時代に加志から人々が移り住み新たな「里」を形成しました。このため古い里である加志に対して「今里」と称すようになったとされています。

【美津島町尾崎】

『津島紀事』では、前駆神(みさきしん)が祀られている場所であるため「御崎(みさき)」と名付けられた

と伝えていきます。この他に、全国的には「山の背筋の下

がった先端、山野丘陵の出鼻、山の尾根の先」といった地形を「尾崎」と名付けている例を挙げ、浅茅湾へ突き出した尾崎地区の地形を指して「尾崎」と名付けられたという説もあります。

※ミサキ＝神霊の一種。



尾崎地区

※室町時代には、朝鮮王朝から官位を与えられ貿易などで財を成した早田氏の根拠となっていた。

つしま図書館情報

つしま図書館 ☎0920(52)3900

●蔵書点検のお知らせ

2月4日(木)～2月18日(木)まで休館します。19日(金)から平常通りです。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

2月の休館日

■休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

今月のおすすめ新着本

『まいにちグラタン』

藤井 恵/著

バターを使わずに、あっさり食べられるヘルシーグラタンができます。気軽に、おいしく、毎日食べたいくなるレシピが詰まっています。

『スーツケースの半分は』

近藤 史恵/著

真美は、フリーマーケットで青いスーツケースを衝動買い。憧れのNYへ一人旅立った。やがてその鞆は友人たちへとバトンされ、「幸運のスーツケース」と呼ばれるようになってゆく――

『住まいの思考図鑑』

佐川 旭/著

家づくりは一生に一度。迷ったり悩んだりした際に、一度立ち止まって整理し、思考してみることが大切です。

『ジョージ・ルーカス』

パム・ポラック/著

「スター・ウォーズ」シリーズなどで知られる映画監督ジョージ・ルーカスは、どのような子ども時代を過ごし、映画の世界に惹かれていったのか。

『まねきねこがっこう』

きた あいり/作

なまけものまねきねこのにゃんきちのもとに、ネコ型の紙が飛んできて、くつついちゃった！すると、突然、体が勝手に動き出して……？

『和菓子の絵事典』

俵屋 吉富/著

古くから受け継がれてきた伝統的な「和菓子」。日本ならではの四季の移りかわりを表現し、文化や風土がつまった和菓子の魅力を紹介。